

介護記録電子化で記録請求業務5割の短縮へ

『ケアカルテ』導入、「iPad」を全事業所で活用し生産性向上

スターツケアサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：山崎千里）は、主力事業である介護保険サービスについて、記録を手書き中心のアナログから、iPadを使用したデジタル入力に移行し、請求システムとも連携させることにより、大幅な業務効率化の実現を目指します。

2019年9月より対象事業所に導入研修を実施し、11月より請求業務を切り替え、12月より介護記録電子化を導入しております。

当社では、請求システムと記録システムに、株式会社富士データシステム(本社:静岡県静岡市)が提供する『ケアカルテ※1』を、展開する事業のうち、グループホーム、有料老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援、高齢者向け賃貸住宅の全88事業所に導入。iPadを活用し、複数のご利用者の介護記録をまとめて入力、また、複数の職員が別の端末から同時に入力できます。必要書類に自動転記されるなど記録時間を削減し、記録は請求データとも連動することにより、記録・請求業務時間の半減を実現します。

今後、全事業所から集約されたビックデータを分析し、研修や施設開発などにも活かすことで、さらなる質の向上を推進すると共に同システムの特徴でもある外部機器との連携機能を活用し、従業員の負担軽減につながるデジタル施策を推進してまいります。

※1.ケアカルテ <https://www.flds.co.jp/product/info/>（株式会社富士データシステムHP）

◆今後のデジタル施策予定

・2020年1月：訪問介護、住宅型有料老人ホーム記録システムの導入



■ご利用者の食事記録を複数人一括記録。記録量も増加し、その内容をリアルタイムでPCで確認できるなど、情報共有も向上

<本件に関するお問い合わせ先>

スターツケアサービス株式会社 広報：渡辺

E-mail：s-careservice@starts.co.jp

TEL：03-6880-3253（直） FAX：03-6880-3261